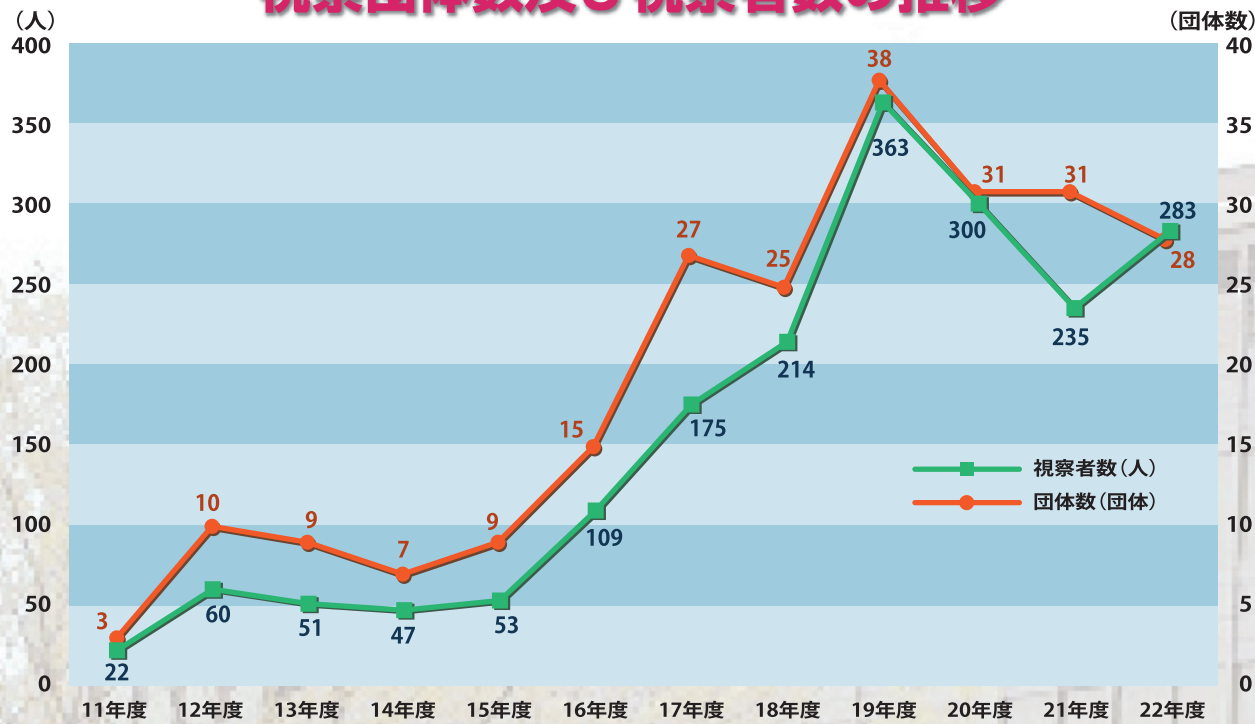


視察団体数及び視察者数の推移



▲政策研究所出版図書

小さな自治体で、市職員を研究員とする政策研究所を設置したことに関心があるようだ。また、研究成果を図書として、出版していることも。「都市間競争」の幕開けで、地方自治の重要性が増す中、市職員の政策能力向上が市民生活を豊かにする。大変注目されている研究所。今後の成果を期待したい。(B)



▲戸田市庁舎屋上には、生ごみや古布等の資源ごみのリサイクル品を用いた独自の屋上緑化システム「フェルトガーデン戸田」を設置しています。

他議会が、戸田市をどう見ているか、一つのバロメーターが視察だと思えます。その視察が年々増えているということは、戸田市が独自性をもって取り組んでいるという評価につながるとともに、視察項目を知ることによって、取り組んで来たことに對して誇りを感じたり意外だったりすると同時に見直しの機会になります。(直)

特集 戸田市のことを知りたい 1位は議会改革。

戸田市へ他の自治体からの視察が増えています。視察者数は平成16年度から増え始め、この10年間で10倍以上になりました。はたして、戸田市の何に関心が持たれているのでしょうか。特集を組んでみましたので、編集委員からの感想とあわせてどうぞ。



▲戸田市議会の議会改革は雑誌「ガバナンス」にも掲載されました。

戸田市議会も、委員会の公開や通年開催、一般質問の一問一答制など、より面白く、市民に開かれた議会へ改革を進めてきていることが評価されたのでしようか。議会や行政に対する市民の目が厳しくなっている昨今、まだまだ改革の道のは続きますね。(お)

年度別 視察項目・上位3

	1位	2位	3位
18年度	・議会改革 ・議会運営		・安全ステーション ・税収納率向上の取組 ・会議録作成支援システム
19年度	・議会改革	・議会運営	・会議録作成支援システム
20年度	・議会改革	・フェルトガーデン戸田	・芦原小学校 ・自校式給食 ・政策研究所 ・会議録作成支援システム
21年度	・議会改革	・フェルトガーデン戸田	・議会運営
22年度	・政策研究所	・フェルトガーデン戸田	・議会改革
5年間	・議会改革	・フェルトガーデン戸田	・議会運営